

海外派遣留学生  
留学報告書  
(HP に掲載します)

留学全体を振り返り、勉学・生活の両面について具体的にご記入ください。

[1] 参加した語学コースの時間数／科目名(受講科目・複数可)

・授業時間数:1 日 5.25 時間、週 4 日

・科目名:English for Academic Purposes (EAP)  
Global Citizenship through English Program (GCE)

時間	月	火	水	木	金	土	日
8:30~12:00	○	○	○	○		Free	Free
13:00~14:45	○	○	○	○		Free	Free
10:00~12:00					○	Free	Free

[2] 授業内容について教えてください。

(クラス人数、国籍割合、担当の先生、授業方法、使用教材等)

クラスの生徒は 11 人で、韓国人 2 人、日本人 6 人、メキシコ人 1 人、チリ人 1 人、台湾人 1 人がいます。午前中はライティングとリーディング、午後はスピーキングとリスニングを学びます。教科書の名前は Grammar and Beyond Essentials Level 2 と Prism Level 2 です。教授法は私の以前の英語学習方法とあまり変わらないと思います。おそらく、私が選択したコースはアカデミックに重点を置いているため、文法力を重視しています。

[3] 課外活動・研修旅行・余暇の過ごし方について教えてください。

金曜日の日中はワークショップがあり、これは自由参加のコースです。さらに、CA は毎週様々なアクティビティを企画して、私たちにバンクーバーの興味深いことを紹介してくれます。

[4] 派遣先でよく使った施設について教えてください。(図書館、学生会館、スポーツ施設等)

私は学校の 2 つの図書館をよく利用して、キャンパス内の生物多様性博物館と人類学博物館もよく訪れます。

[5] 宿舎(寮やホームステイ)での生活について教えてください。

部屋:1部屋\_1\_人で使用

様子:

私の部屋は 1 階にあり、ホストファミリーとは出入り口が分かれており、自分の部屋、リビングルーム、バスルームが利用できます。ホストファミリーのお母さんが洗濯をしてくれるので、週に 1 回できます。朝食はキッチンにある食材を使って自分で作ることができます。昼食はホストファミリーのお母さんが作ってくれます。ほとんどの場合、サンドイッチ、フルーツ、ビスケットです。夕食には決まった時間があり、一律 6 時に出されます。家に帰るのが遅すぎる場合は、夕食を取っておくように頼むことができます。幸いなことに、私の家は学校に非常に近く、バスでわずか 10 分です。

# 留学報告書

(HPに掲載します)

## [6] 留学中に楽しかったこと、苦労したことを教えてください。

### ● 楽しかったこと:

UBC のキャンパスはとても美しく、私たち学生が利用できる快適な施設がたくさんあります。さらに、ELI では世界の様々な地域から来たたくさんの友達に会い、英語でコミュニケーションをとることができてうれしかったです。また、カナダとバンクーバーを訪れるのは初めてなので、空き時間にこの街を探索するのも魅力的なアクティビティです。

### ● 苦労したこと:

まず、カナダでの生活は、食べ物の買い物や交通手段など、アジア諸国ほど便利ではありません。バンクーバーはカナダの他の地域よりも暖かいですが、雨がよく降り、あまり快適ではありません。大雪の日もあり、バスが止まり、多くの生徒が登校できなかったのですが、幸運にもホストファミリーのお父さんが車で学校まで送ってくれました。

## [7] 留学の成果について教えてください

### 1) 語学力の向上:

英語のスピーキングとライティングのスキルが大幅に向上したと感じています。前者は英語が日常生活で使われており、頻繁に練習できるからです。後者は、教室での先生の教え方が非常に明快で、英文の文章の構成を学ぶことができたからです。

### 2) 専門知識の向上:

専門的な知識かどうかはわかりませんが、GCE コースでは、カナダの文化を理解し、研究するのに役立つ毎週のテーマがあります。特に印象的だったのは仕事をテーマにした週で、私のグループはバンクーバーのギフトショップを調査・分析し、違いを比較しました。また、エコツーリズムがテーマだった一週間もあり、カナダの珍しい生態環境や動物をたくさん知ることができ、自然保護に対する理解と関心が深まりました。

### 3) 自己成長など

バンクーバーに住むことで、慣れない新しい生活環境にすぐに適応できる人間になったと感じています。一人で日本に留学した経験もありますが、東京も台北も大差ないと思いますので違和感はありません。しかし、バンクーバーと東京は時差だけでなく、気候も違いますし、ホストファミリーに住んでいるので、他の人たちと一緒に生活したりする必要があります。最初は彼たちと話すのが少し緊張しましたが、慣れてくると毎週一緒にテレビ番組を見たり、学校での生活を共有したりしてとても楽しかったです。

## [8] 来年度に留学を希望する学生へのアドバイスをお願いします！

このような留学生活は人生でも稀な経験だと思います。ですから、機会があれば、自分自身を克服し、どんな困難も恐れず、挑戦することで、短期間で大きく成長できることは間違いありません。

海外派遣留学生  
留学報告書

(HP に掲載します)

[9] 留学に関する費用の総額について内訳を教えてください。

項目※詳しく記入して下さい	金額(当時の日本円)
渡航費(旅行会社に支払った経費)	594880
授業料以外の諸経費(教材費・課外活動・保険料等)	20000
私生活における諸経費(食費・交通費・洗濯費等)	200000
現地からの奨学金がある場合	0
お土産代や個人的な買い物	40000
その他( )	0
留学に関する費用の総額	854880

[10] ホームページに掲載する留学中の写真を貼り付けてください。(複数枚可)

※寮や授業、ホームステイ先など、なるべくご自身が映っている写真をお願いします！



海外派遣留学生  
留学報告書  
(HPに掲載します)



海外派遣留学生  
留学報告書  
(HPに掲載します)



海外派遣留学生  
留学報告書  
(HPに掲載します)

